

第 89 回日本学生氷上競技選手権大会 要 項

平成 28 年 10 月 18 日

1. 主催

一般社団法人日本学生氷上競技連盟（以下「本連盟」という。）
苫小牧市

2. 後援（予定）

公益財団法人日本スケート連盟（以下「日本スケート連盟」という。）
公益財団法人日本アイスホッケー連盟（以下「日本アイスホッケー連盟」という。）
北海道 北海道教育委員会 苫小牧市教育委員会 安平町教育委員会 公益財団法人苫小牧市体育協会
苫小牧市商工会議所 一般社団法人苫小牧観光協会

3. 主管

一般財団法人北海道スケート連盟 一般財団法人北海道アイスホッケー連盟 苫小牧スケート連盟
苫小牧アイスホッケー連盟 第89回日本学生氷上競技選手権大会苫小牧市実行委員会

4. 期日

平成 29 年 1 月 4 日(水)～9 日(月)
※競技種別ごとの詳細日程は、それぞれの要項参照

5. 会場

苫小牧市ハイランドスポーツセンター・苫小牧市白鳥王子アイスアリーナ
苫小牧市沼ノ端スケートセンター・苫小牧市新ときわスケートセンター
安平町スポーツセンターせいこドーム

6. 競技種別

男子：スピードスケート競技、フィギュアスケート競技、アイスホッケー競技
女子：スピードスケート競技、フィギュアスケート競技

7. 競技方法

- (1) 男子、女子とも、競技種別ごとの得点合計による学校対抗とする。ただし、フィギュアスケート競技は A クラスのみを対象とする。
- (2) 競技種別ごとに次の得点を与える。
1 位 8 点、2 位 7 点、・・・ 8 位 1 点とする。ただし、アイスホッケー競技の 5 位から 8 位までは 2.5 点とする。

8. 表彰

男子、女子とも、優勝校に優勝賜杯（男子は寛仁親王杯、女子は寛仁親王妃杯）及び賞状を、2 位から 4 位までの大学に賞状を授与する。

9. 参加資格

- (1) 本年度、本連盟登録者であること。
- (2) 各競技種別の参加資格は、それぞれの要項参照

10. 参加申込

- (1) 本連盟ホームページより申し込むこと。（本連盟 URL <http://jacsisf.jp>）

- (2) 大会参加料 S・F部門 10,000円 H部門 8,000円
参加料徴収の方法を従来から変更するため、後日、参加料納付の方法について、本連盟ホームページに掲載する。
- (3) 参加料は、個人ではなく大学部門名で振り込むこと。
- (4) **手続き期限は、平成28年12月15日(木)正午【期限厳守】**
ただし、アイスホッケーの予選競技会参加の大学は、競技会終了後直ちに申し込むこと。
- (5) **大会事務局(大会関係連絡先)**
事務連絡先 〒150-0012 東京都渋谷区広尾5-4-1 2大成鋼機ビル4F
(一社)日本学生氷上競技連盟
TEL/FAX: 03-6853-8229 E-mail: info@jacsif.jp
- ・スピード部門 speed@jacsif.jp
 - ・フィギュア部門 figure@jacsif.jp
 - ・ホッケー部門 hockey@jacsif.jp

11. 宿泊

第89回日本学生氷上競技選手権大会宿泊要項による。

12. 開会式

平成29年1月4日(水) 14:00~

会場: 苫小牧市民会館

閉会式

平成29年1月9日(月) アイスホッケー決勝戦終了後(閉会式開始時間は、後日決定する)

会場: 苫小牧市白鳥王子アイスアリーナ

*開会式、閉会式には、原則として出席すること。なお、表彰の対象となる大学が、閉会式を欠席する場合には、必ず事前に大会事務局に申し出ること。

12. その他

- (1) 大会中(4.の全日程中)の事故等については応急処置のみとし責任は負わない。
- (2) 参加者はスポーツ傷害保険等に必ず加入していること。

スピード部門競技要項

1. 競技距離

女子	個人種目	2x500m 1000m 1500m 3000m
	団体種目	2000mリレー チームパシュートレース(6周)
男子	個人種目	2x500m 1000m 1500m 5000m 10000m
	団体種目	2000mリレー チームパシュートレース(8周)

2. 競技日程

平成28年1月6日(水)	①③女子500m ②④男子500m
平成28年1月7日(木)	①女子3000m ②男子5000m ③女子1000m ④男子1000m
平成28年1月8日(金)	①女子1500m ②男子1500m ③男子10000m
平成28年1月9日(土)	①女子2000mリレー ②男子2000mリレー ③女子チームパシュートレース ④男子チームパシュートレース

3. 競技方法

(1) 国際スケート連盟スピードスケート競技規則(以下「ISU規則」という。)日本スケート連盟スピード

スケート競技規則並びに本要項による距離別競技とする。

(2) 女子、男子とも各距離の得点合計による学校対抗とする。この場合、合計得点と同じときは上位者の多い学校を上位とする。更に同点の場合は同順位とする。

(3) 各距離の得点は次のとおりとし同順位は得点を案分する。この場合、小数第2位以下を切り捨てるものとする。

個人種目

女子 1位17点、2位15点、3位13点、4位11点、5位9点、6位7点、7位6点、8位5点、9位4点、10位3点、11位2点、12位1点

男子 1位20点、2位18点、3位16点、4位14点、5位12点、6位10点、7位9点、8位8点、9位7点、10位6点、11位5点、12位4点、13位3点、14位2点、15位1点

団体種目

女子 1位14点、2位11点、3位8点、4位6点、5位4点、6位2点

男子 1位18点、2位15点、3位12点、4位10点、5位8点、6位6点、7位4点、8位2点

(4) トラックは標準400mダブルトラックCタイプとする。ただし、チームパシュートレースにあっては標準シングルトラックCタイプとする。

(5) 500mにあっては、同一日にスタートレーンを換えて2回滑走し、その合計タイムに従って順位を決定する。

(6) 1500m以上の距離にあってはカルテットスタート競技方法を採用することができる。この場合、採用の有無は監督、主将会議で決定する。

(7) 組合せ手順及びスタート順

ア) 個人種目

a) 各距離の組合せ及びスタート順は、当該距離の本年度タイム(日本スケート連盟が公表したカルガリー又はソルトレークシティで樹立したものを除く当該距離の最新のもの)による。この場合、ISU規則第239条4項、第240条6項を準用する。

b) ランキングの編成

① 各距離とも、当該距離の本年度タイムに従ってエントリーされた者を次のように順位づける。この場合、本年度タイムが同タイムのときは前年度タイム(日本スケート連盟が公表したカルガリー又はソルトレークシティで樹立したものを除く当該距離のもの)に従って順位づける。

② 前年度タイムのない者は、抽選により順位づけ①に続く。

c) 組合せは、前記b)の上位から2名ずつ組み合わせるものとし、スタートレーンは上位者をインレーンとする。ただし、500mの2回目を除き同一校が同一組とならないよう組を調整する。

- d) 組のスタート順は前記 c) の下位からとする。
- e) 500m の 2 回目にあつては、1 回目のタイムに従つてスタートレーンを換えて上位から組み合わせる。
 - ① 1 回目の結果に同一レーンでの同順位があつた場合は、前記ア) b) の順位に従つて順位づける。
 - ② 組のスタート順はタイム順とは逆に下位の組からとし、1 回目最上位の組が最後に滑走する。
- f) 抽選後の棄権に伴う組の調整は I S U 規則第 245 条 3 項を適用する。
- g) 最終順位は I S U 規則第 265 条、第 266 条、第 268 条及び第 275 条を適用する。

イ) 団体種目

- a) 第 3 日目競技終了時点の学校対抗得点合計に基づき上位から組み合わせる。この場合、学校得点合計が同じときは上位者の多い大学を上位とする。さらに同点の場合は抽選とする。
- b) スタート順は得点順とは逆に下位の組からスタートし、最上位の組が最後に滑走する。
- c) チームパシュートのスタートレーンは上位校をホームサイドとする。リレー競技にあつては抽選でスタートレーンを決定する。
- d) 抽選後の棄権に伴う組の調整は I S U 規則第 245 条 3 項を適用する。

(8) 個人種目、団体種目とも、最終順位は I S U 規則第 265 条及び第 275 条を適用する。

4. 表彰

- (1) 女子、男子とも学校対抗 1 位の大学に優勝杯及び賞状を、2 位及び 3 位の大学に賞状を授与する。
- (2) 各距離とも、個人種目は 1 位から 8 位までの者に、団体種目は 1 位から 3 位までの大学に賞状を授与する。

5. 参加資格

本年度本連盟登録者であつて、日本スケート連盟バッジテスト C 級（スピード、ショートトラックを問わない）以上を有する者

6. 出場制限

- (1) 各距離の出場人員を次のとおり制限する。

個人種目 1 校 1 距離 3 名以内 補欠 1 名以内

- ・ 1 名 2 距離以内とし、補欠を含め 2 距離に参加申込した者は他の距離の補欠となることはできない。ただし、リレー及びチームパシュートレースは除く。
- ・ 男子 10000m にあつては、本年度又は前年度で次のタイム以上を有する者
男子 5000m 7 分 45 秒 又は 男子 10000m 16 分 14 秒

団体種目

リレー競技 1 チーム 6 名以内の編成とし出場は 4 名

チームパシュートレース 1 チーム 5 名以内の編成とし出場は 3 名

- (2) 外国籍学生の出場は 1 校につき 1 名以内とする。

フィギュア部門競技要項

1. 参加資格

(1) シングルスケーティング(男子)

- ・ Aクラス 日本スケート連盟バッジテスト7・8級
- ・ Bクラス 日本スケート連盟バッジテスト5・6級
- ・ Cクラス 日本スケート連盟バッジテスト3・4級及び各都道府県スケート連盟テスト部長による「3級エレメンツ2課題残し証明書」の発行を受けた者

(2) シングルスケーティング(女子)

- ・ Aクラス 日本スケート連盟バッジテスト7・8級
- ・ Bクラス 日本スケート連盟バッジテスト5・6級
- ・ Cクラス 日本スケート連盟バッジテスト3・4級及び各都道府県スケート連盟テスト部長による「3級エレメンツ2課題残し証明書」の発行を受けた者

(3) アイスダンス

- ・ 選手権クラス
該当シーズンにおいて日本スケート連盟主催のシニア選手権大会への出場資格を有するカップル
- ・ 準選手権クラス
カップルのいずれかがブロンズ以上。(ただし、選手権クラスの出場資格を持つカップルは、該当シーズンにおいて、(公財)日本スケート連盟主催のシニア選手権大会に出場していない場合のみ、準選手権クラスへの参加を認める。)

※上記の級は選考競技会申し込み締め切りまでに取得のこと。

2. 出場制限

(1) Aクラス

男女ともに、東西選考競技会上位大学より計36名。ただし、1校男女各3名を上限とし、前年度上位3校はシード校として1名分の出場枠を持つこととする(補欠1名)

(2) Bクラス

男女ともに、東西選考競技会上位大学より計28名。ただし、1校男女2名を上限とする(補欠1名)

(3) Cクラス

男女ともに、東西選考競技会上位大学より計28名。ただし、1校男女2名を上限とする(補欠1名)

(4) アイスダンス

規制は設けない

(5) 外国籍学生の出場は1校につきA・B・Cクラスそれぞれ1名以内とする。

3. 競技課題

(1) Aクラス

ショート・プログラム ISUシニア課題 2分50秒以内

フリー・スケーティング ISUシニア課題 男子4分30秒/女子4分

(フリー・スケーティングは、ショート・プログラムの結果上位各24名までが出場できる)

(2) Bクラス

フリー・スケーティング ISUジュニア課題 男子4分/女子3分30秒

(3) Cクラス

日本スケート連盟ノービスB課題 男子3分/女子2分30秒

(4) アイスダンス

選手権クラス フリーダンス (ISUシニア課題)

準選手権クラス ショートダンス (別途通知)

4. 採点方法

ISUジャッジングシステム

5. 得点方法

- (1) A・B・Cクラスそれぞれ出場人数の逆転法によって、学校得点を決定する。
- (2) Aクラス25位以下については、S・Pの結果をあてる。
- (3) 学校対抗は、合計得点により順位を決定する。同点の場合は、上位入賞者による。
- (4) 3部門総合の学校対抗については、Aクラスの結果をあてる。
- (5) アイスダンスは学校対抗の対象としない。

6. 表彰

- (1) 個人：フィギュア会場にて、男女A・B・Cクラス各8位まで賞状を授与する。
アイスダンス：フィギュア会場にて、各クラス上位3位まで賞状を授与する。
- (2) 団体：フィギュア会場にて、男女Aクラスの優勝校に優勝杯、男女A・B・Cクラスそれぞれ1位から3位までの学校に賞状を授与する。

ホッケー部門競技要項

1. 参加資格

日本学生氷上競技連盟加盟校のうち、地区ごとに定められた枠数により出場権を得た各地区の代表14校及び、前大会ベスト16進出の16校の計30校

北海道2、東北2、北信越1、関東2、中部1、関西3、中四国1、九州2、及び昨年度ベスト16進出校(北海道地区1、関東地区11、関西地区4)、計30校

2. 出場制限

- (1) ベンチ入りできる選手は、ゴールキーパー最小1名、最大2名。プレイヤー最小10名、最大20名とし、ゴールキーパー1名を含み総勢11名未満のチームは出場資格を持たない。
- (2) 試合に際して、登録された責任者(チームを管理するスタッフ:監督、コーチ等)が不在の場合は、試合放棄と見なしその試合は没収される。ベンチ入りスタッフは最小1名、最大6名とする。スタッフとは監督・コーチとして(公財)日本アイスホッケー連盟に登録されている者とする。
- (3) 外国籍学生の出場は1校につき2名以内とする。
- (4) 学生ドアマンについては、本大会登録選手・マネージャーが2名以内でベンチ入りすることができる。この場合、必ずフルフェイスマスクのついたヘルメットを着用しなければならない。

3. 競技方法

- (1) 上記30校によるトーナメント戦により1位から5位を決定する。
- (2) 試合は正味20分×3ピリオドで行なう。インターバルは、10分とする。タイムアウト(30秒)は全試合、各チーム1回使用できるものとする。
- (3) 第3ピリオド終了時点で同点の場合、次の方法で勝敗を決定する。
 - ① 1回戦から準々決勝戦にあつては、国際アイスホッケー連盟スポーツ規定に定められる「ゲーム・ウイニング・ショット」(GWS)で勝敗を決定する。ノミネートは不要で3名で行い、リンクサイドは片面だけを使う。なお、3名で決着がつかない場合はタイ・ブレイク方式(サドン・ビクトリー)で勝敗を決定する。この場合、同じ選手が何回続けてショットしても良い。
 - ② 準決勝戦、3位決定戦及び決勝戦は、第3ピリオド終了直ちに5分間のスケーター3対3によるサドン・ビクトリー方式の延長戦で勝敗を決定する。なお、延長戦のサイドは第3ピリオドと反対とする。延長戦でも決しない場合は国際アイスホッケー連盟スポーツ規定に定められる「ゲーム・ウイニング・ショット」(GWS)で勝敗を決定する。
- (4) 練習時間は、1・2回戦は7分間、準々決勝以降は10分間。
- (5) 日本アイスホッケー連盟、主管連盟及び大会事務局の定めるローカルルール以外は、国際アイスホッケー連盟の定める国際競技規則及び同スポーツ規定による。

4. シード

- (1) 前大会ベスト8進出校がシードされる。
- (2) ベスト4校は、順位により定められた位置にシードされる。
- (3) 5位4校のシード位置は、昨年度大会期間中に抽選によって決定済みである。
- (4) 前大会ベスト16進出校は、春季代表委員会において、抽選によって決定済みである。

5. 得点

ベスト8進出校に得点を与える。1位8点、2位7点、3位6点、4位5点、5位(4校)は2.5点ずつとする。

6. 表彰

- (1) 優勝校には優勝杯を授与し、1位から3位の学校に賞状を授与する。
- (2) 全参加者のうち、1名に最優秀選手【MVP】賞を授与する。

(3) ベスト4進出校のうち準々決勝戦からのポイントを計算し、【得点王】賞及び【アシスト王】賞を授与する。

7. その他

本年度大会において確定した5位4校については、大会期間中に抽選により次年度大会のシード位置を決定する(詳細については、監督主将会議で発表する)。ポジションごとに優秀選手を選出し、【ベスト6】賞を授与する。